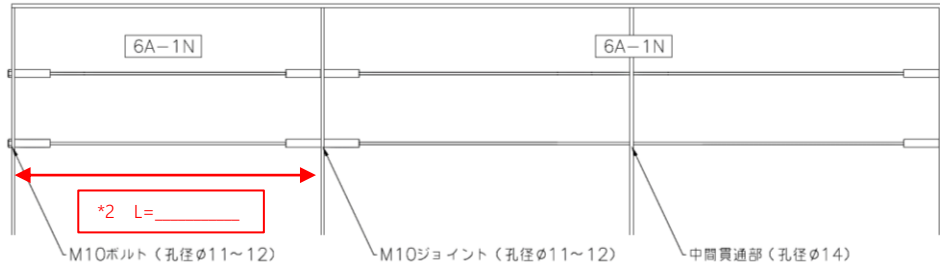


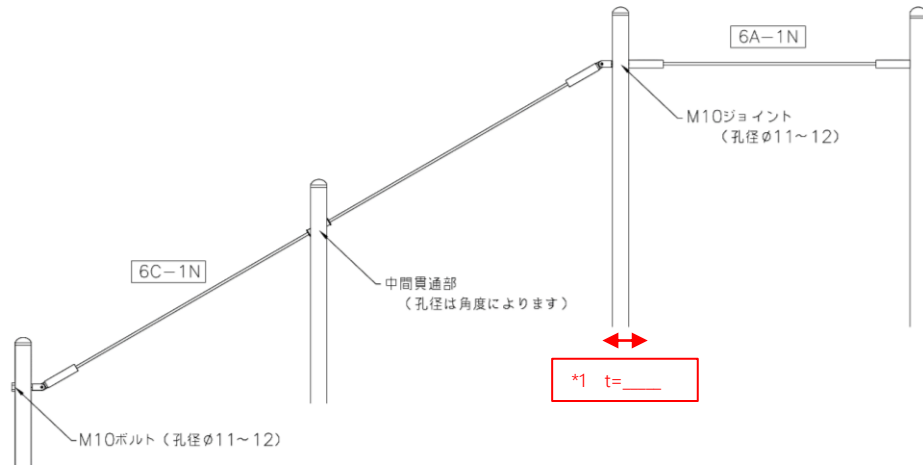
## ワイヤーテンドN：見積依頼用チェックシート①：φ6、φ5、φ4、φ3共通

ワイヤーテンド（N）の設置場所の図面（支柱、ワイヤーの配置など）を共有してください。図面がない場合、スケッチ、写真等を共有いただければと思います。  
基本的には材料のみの御見積になります。工事込みの場合はご確認下さい。



### チェックリスト

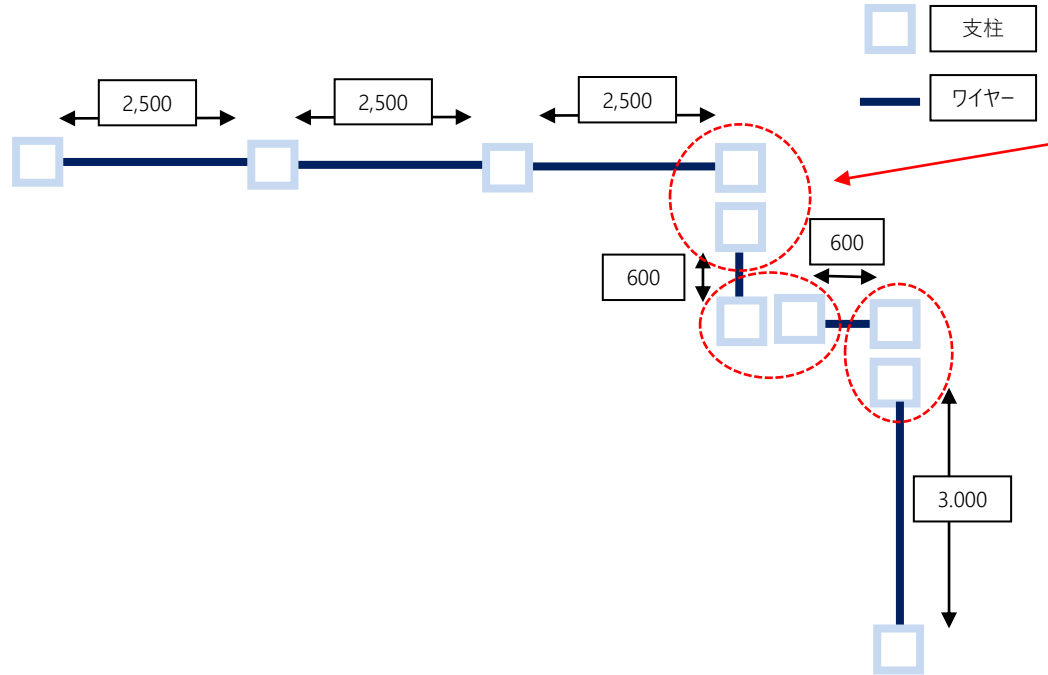
- ワイヤーテンド設置場所の図面を共有できますか？  出来ます  出来ません
- ワイヤーの張り方について教えてください。  水平方向  傾斜方向  水平方向+傾斜方向
- ワイヤーの設置段数は？  1  2  3  4  5  6  その他 (\_\_\_\_)
- ワイヤー設置する支柱の材質は何ですか？  フラットバー  角パイプ  丸パイプ  その他 (\_\_\_\_\_)
- 支柱のサイズと太さを教えてください。 \*1 t= \_\_\_\_\_
- 支柱間の寸法は？ \*2 L= \_\_\_\_\_
- 傾斜している場合、傾斜角度は？ \_\_\_\_ 度
- コーナーにも柱を設置する場合、コーナーに設置する柱は何本ですか？  1本のみ  2本以上



送り先は担当営業もしくは、下記メールアドレス宛にお送り下さい  
contact@ultima-grip.co.jp

## ワイヤーテンドN：見積依頼用チェックシート②：φ6、φ5、φ4、φ3共通

ワイヤーテンド（N）の設置場所の図面（支柱、ワイヤーの配置など）を共有してください。図面がない場合、スケッチ、写真等を共有いただければと思います。  
基本的には材料のみの御見積になります。工事込みの場合はご確認下さい。



### チェックリスト

コーナー部の場合、ワイヤーセットは1本の柱に1方向のみ取り付け可能です。

コーナー部には2本の支柱が必要です。

コーナー支柱の2本設置が可能かどうかご確認ください。

コーナー支柱を2本設置できない場合は、ワイヤーセットの溶接を1方向で行うことになります。

溶接が可能かどうかご確認ください。

# ワイヤーテンド (N) ご注意

## 取り付け時の注意事項

- 市販のスパナで施工が可能です。（13mm・14mm・17mm）
- 張り調整はスレッド側で行います。ただし、支柱間寸法の誤差は端子側でも調整が可能です。
- メンテナンスなどで防犯カバーを外す際は、カバーを握り水平方向に引っ張ってください。（外れにくいときはゴム手袋などの滑りにくい物をご使用ください。）
- φ6・φ5の場合、取り付けはM10ボルトを使用しております。支柱の穴あけはφ11～12としてください。
- ただし、中間に支柱を設け、中間支柱用ワイヤー保護パイプ(パイプ径 φ16)を使用する場合の穴あけはφ17です。F Bの場合で中間支柱にジョイントボルトを使用しない場合の穴あけはφ14以上です。
- エンドボルトの頭には全ての施工を完了した後に付属のいたずら防止用キャップを取付けてください。取付ける際には、当て木などをして叩き込んでください。
- 木支柱に施工した場合、時間の経過に伴う乾燥で寸法が変化する可能性があります。施工後3～6ヶ月の経過を目安に締め直しを行ってください。

## ご注文時の注意事項

- ワイヤー長（スレッド金具付）は支柱間法寸法に基づいて製作します。ご注文の際は、支柱間寸法もしくは、芯々寸法をお知らせ下さい。
- フラットバー・丸パイプ・角パイプ・木柱など、支柱はほとんどの形状・材質・寸法に対応いたします。
- 材質はSUS304です。沿岸部でご使用の際はSUS316を特注にて対応します。
- この製品はシステムで用いることを前提に安全性などが考慮されているため、各部品単品での販売は致しておりません。
- 中間に支柱が設置されている場合は、ワイヤー保護の為に中間支柱用ワイヤー保護パイプのご使用をお奨めします。（支柱：角パイプ、丸パイプ）
- エンドボルトとジョイントボルトは別売となります。
- 試験値はワイヤー径φ6です。（φ5も対応可能）
- ワイヤー径φ6、φ5は現場でのワイヤーカットが出来ません。ワイヤー径φ4、φ3は現場でのワイヤーカットが可能です。
- 錆びにくい材質を使用しておりますが、設置場所、環境によっては錆びが発生する可能性があります。ただし、錆びが発生しても機能上は問題ございません。